

AVANTECH

RACING TEAM

Team Release

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup 2026 プロフェッショナルシリーズ 第6戦 鈴鹿大会 10.3(Sat) 公式予選

ー 痛恨のタイム抹消でTOP8は幻に。決勝での巻き返しを誓う ー



チームとしてシーズン2戦目の戦いとなるGR86 / BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ鈴鹿大会。ドライバーには昨年度のFIA-F4選手権シリーズチャンピオンで今シーズンはSUPER GT 300クラス、全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権、スーパー耐久シリーズで活躍中の鈴木斗輝哉を起用。鈴木はレース前週に初めてGR86 CupCarをドライブ。その後レースウィークのスポーツ走行・専有走行と僅かな走行時間の中でもTOP6圏内に食い込むポテンシャルを披露し、チームとしても自信をもって臨んだ土曜日の公式予選。セッション後半のアタックで8番手相当のタイムを記録するもトラックリミット判定によりタイム抹消。後方からのスタートとなりますが、明日の決勝もチーム一丸となって最後まで上位進出を目指します。明日もドライバー、チームへのご声援のほど、よろしくお願いいたします。

■公式予選

計測できず

■鈴木斗輝哉 コメント

フリープラクティスから徐々に調子を上げていき、この週末の集大成として結果と記録を残す意気込みで予選に挑みました。結果的にはトラックリミット違反によりタイム抹消となってしまいましたが、それがなければ自己最高位となる8番手相当のタイムを記録できていました。一瞬ではありますがトップに立ち、存在感を示す走りができたと感じています。それだけに正直とても悔しい気持ちが強いです。そこが自分の甘さであり、プロとの差なのかなとも実感しています。タイム抹消という残念な結果にはなりましたが、素晴らしいマシンを用意してくれたチームのおかげで、短い時間の中で現状のパフォーマンスを最大限に出し切ることができました。自分自身としては手応えを感じられる予選になったと思っています。明日は後方からとなりますが、チームと共にベストを尽くします。応援よろしくお願いいたします。

StarFive
Motor Racing Store

NET2 HYOGO

BRIDGESTONE

sparco
POWER OF PERFORMANCE

Sabelt

NUTEC

XADO
CHEMICAL GROUP

PL0T2
RACING & PERFORMANCE DESIGN STUDIO

EXEDY
RACING CLUTCH

FUJITSUBO
EXHAUST SYSTEMS

Piro Racing